

てるてるだより

いよいよ、大阪・関西万博まであと2年となりました。今月号では、万博開催を機に港区の課題である「人口減少」を食い止めるために公民連携で進めていることや、区民のみなさんができることを紹介しています。住民を増やすには「港区に住みたい」と思ってもらえる住環境・教育環境の整備や産業振興による雇用の確保、そして港区の魅力を発信するシティプロモーションも必要です。

港区では、さまざまな公民連携に取り組んでいます。昨年12月にはコスプレイベントを全国で展開し、港区内に撮影スタジオを持つ株式会社ハコスタさんと事業連携協定を結びました。

日本のアニメ・ゲーム等のキャラクターになりきって撮影や街遊びを楽しむコスプレ文化は、世界に広がり日本が誇るコンテンツの一つとなっています。日本中のあちこちで「コスプレ×地域活性化」の実績を持つハコスタさんが、港区で創業し今も本社があるご縁から今回の協定締結となりました。

名古屋市ではすでに「コスプレホストタウン」という取り組みを展開しており、コスプレイヤーさんたちによる港区の風景やスポット・飲食店の魅力発信にもつながることを期待しています。港区で

コスプレイベントが開催される際には、ぜひ参加して多世代・多文化で交流しましょう！



【空庭温泉での記念撮影】

株式会社ハコスタ・山本専務とコスプレイヤーさんたちと記念影。空庭温泉での初のコスプレイベントは大盛況でした！

